3.5.1. Cin7からのデータ取得方法

この文章では以下を説明します。:

- Cin7とGMDH Streamlineでの重要用語対応
- 統合の制限
- インポートされるデータ
- データインポートワークフロー

重要用語

Cin7が扱う重要なエントリーには、製品、製品オプション (コードまたはSKU)とブランチがあります。GMDH Streamlineは、製品を品目、製品名を品目説明、ブランチを地点としてそれぞれを扱います。

統合の制限

Cin7の製品は、'ファッション製品'にのみ関係のあるサイズオプションを持つことができます。これらをサイズ設定品目と呼び、通常品目と区別します。下記の一覧表ではGMDH Streamlineがインポートする通常品目とサイズ設定品目のデータを紹介します。

データ	通常品目	サイズ設定品目
販売履歴	✔	✔
手持ち在庫履歴	✔	

現在のところCin7 APIはサイズ設定品目について手持ち在庫履歴を公開していませんGMDH Streamlineは、サイズ設定品目について以下の対応ができません。:

- 在庫回転率の計算
- 期間中に在庫が足りなかった日数(欠品日数)の計算
- 機会損失の原因を、欠品日数であるか、需要がないためかを自動で判定すること

インポートされるデータ

GMDH Streamlineにインポートされるデータについては、在庫管理システムにて記載されています。

データインポートワークフロー

GMDH Streamlineは、 データインポートのためにCin7 APIを利用しますStreamlineにCin7 APIの利用権限を与えるためにはCin7ではAPIユーザー名とAPI Keyを必要としますAPIユーザー名は、Cin7統合設定から見つけることができAPI Keyは、Cin7 API接続作成時に生成されます。これらのユーザー情報の取得方法を後に説明します。

データインポートは次の2手順です。:

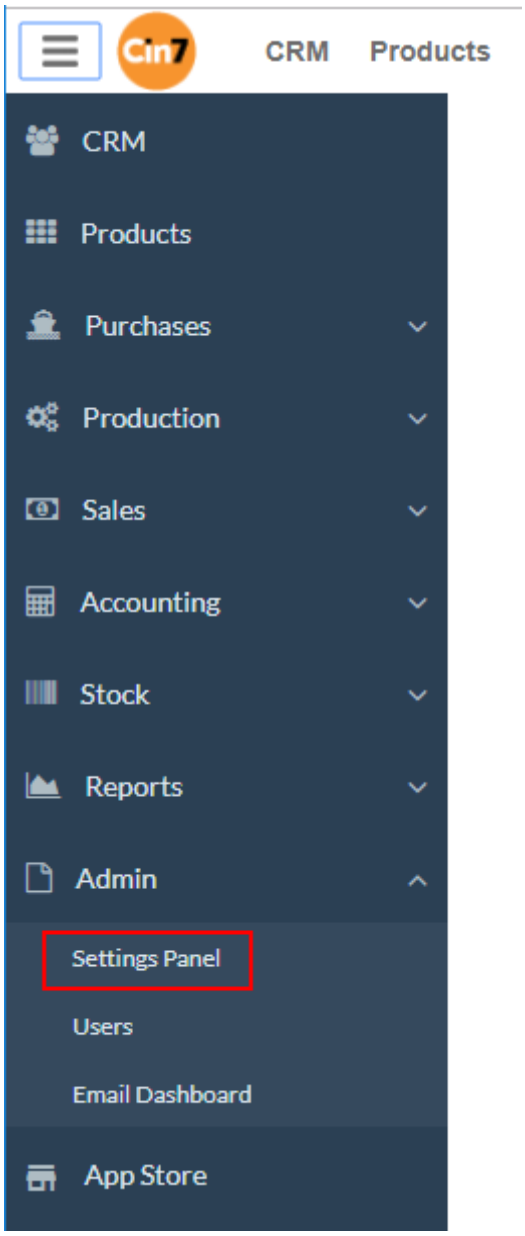
1. APIユーザー名とAPIキーの取得
2. GMDH Streamlineへデータをインポート

APIユーザー名とAPIキーの取得

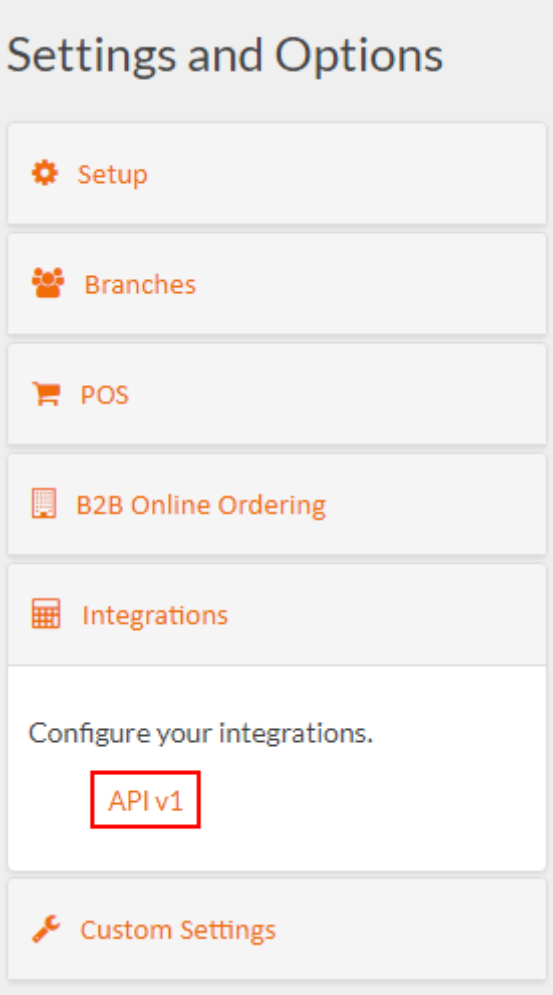
次の手順に従い、APIユーザー名を取得します。:

1. Cin7アカウントにログインします。

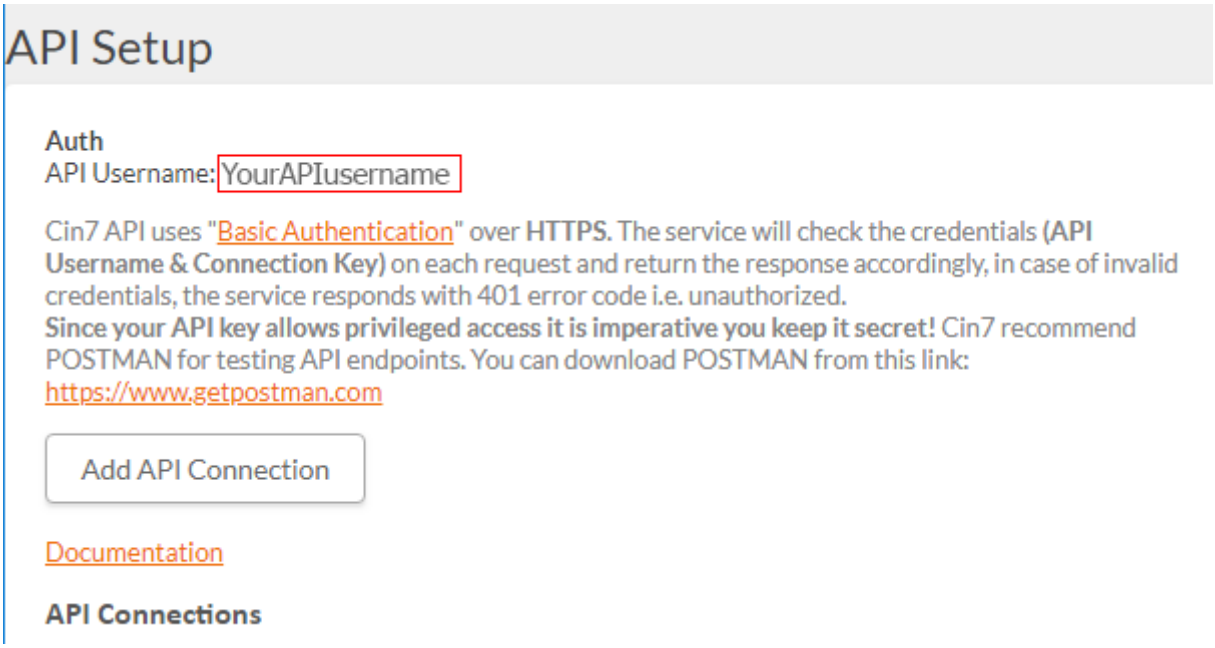
2. メニューより **Admin** > **Settings Panel** を選択します(下記の図を参照)。



3. **Integrations** セクションを展開し、**API v1** リンクをクリックします(下記の図を参照)。

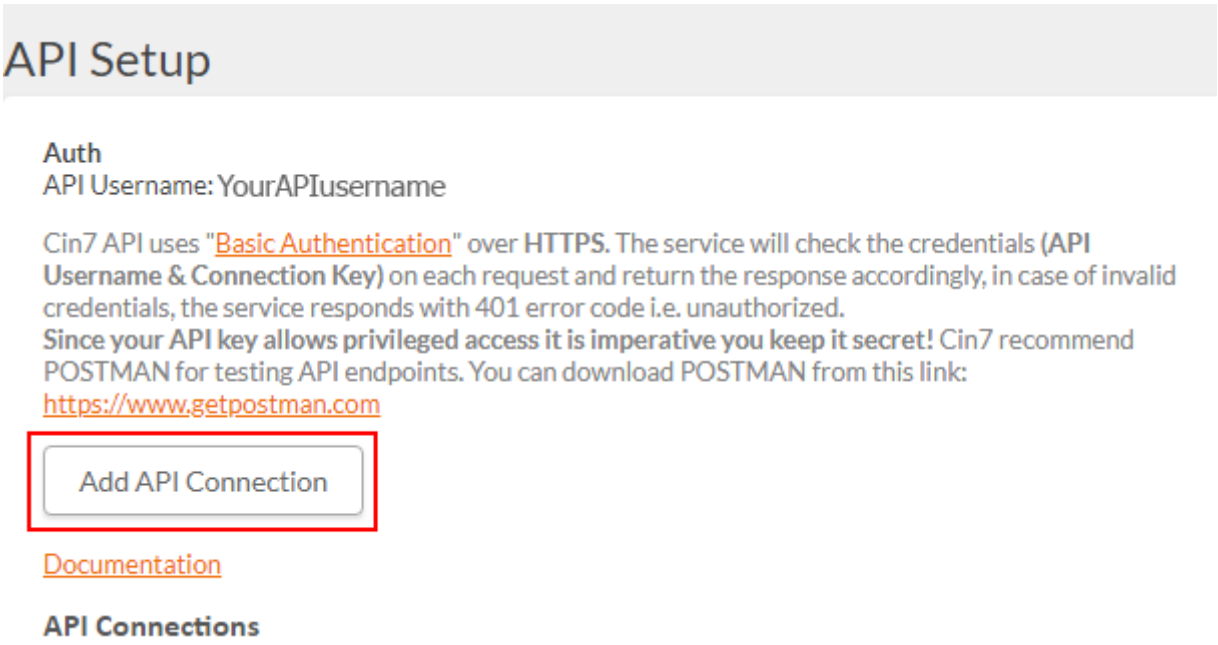


4. APIユーザー名が、API設定ページの**Auth**セクションに表示されます(下記の図を参照)。

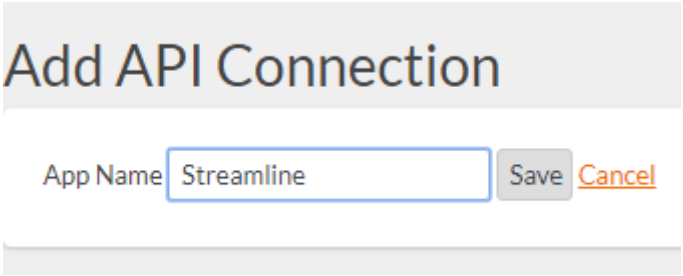


API Keyを取得するには、Cin7を使いAPI接続の作成が必要です。次の手順に従い、作成します。:

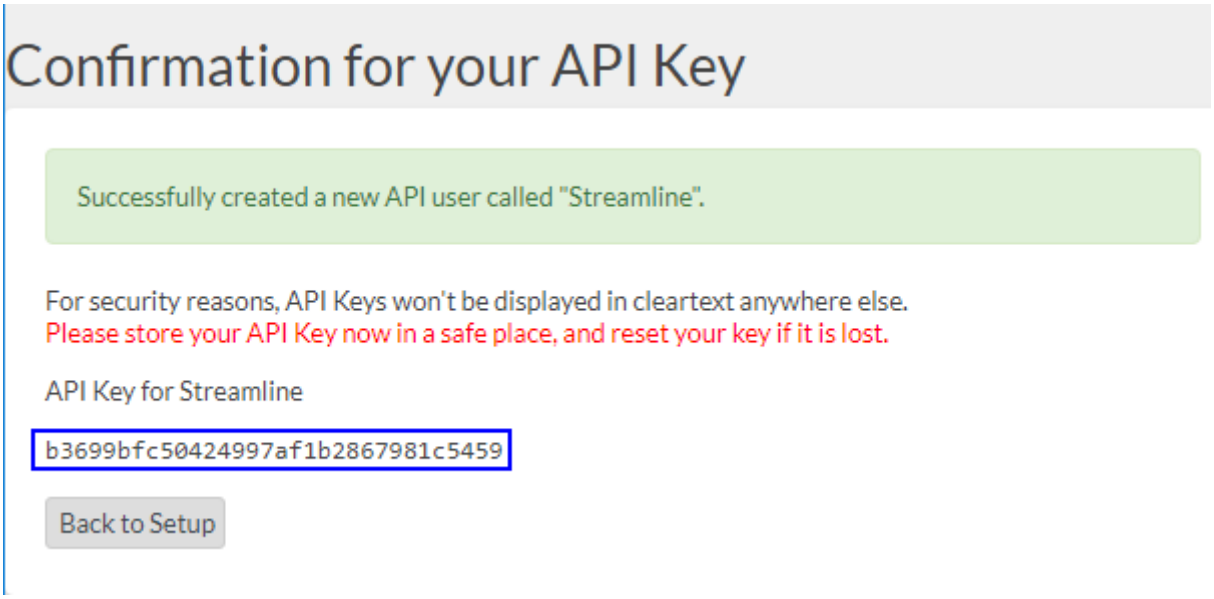
1. **Add API Connection** ボタンをクリックします(下記の図を参照)。



2. 接続名を入力し、**Save** ボタンをクリックします(下記の図を参照)。



3. ここでAPI Keyが作成されます(下記の図を参照)。





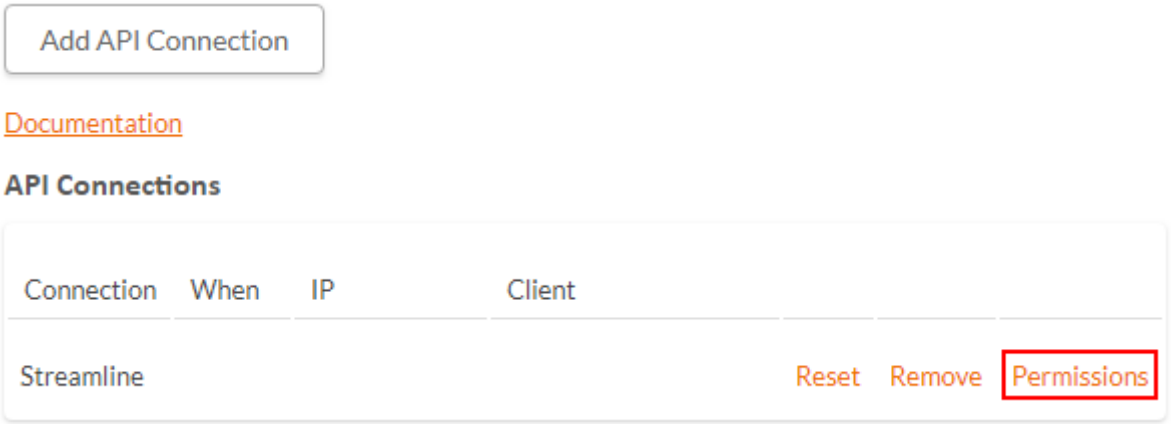
生成された情報を安全な場所に保存しますCin7は、この情報をこのページで1回だけ表

示します。情報を失った場合リセットします。

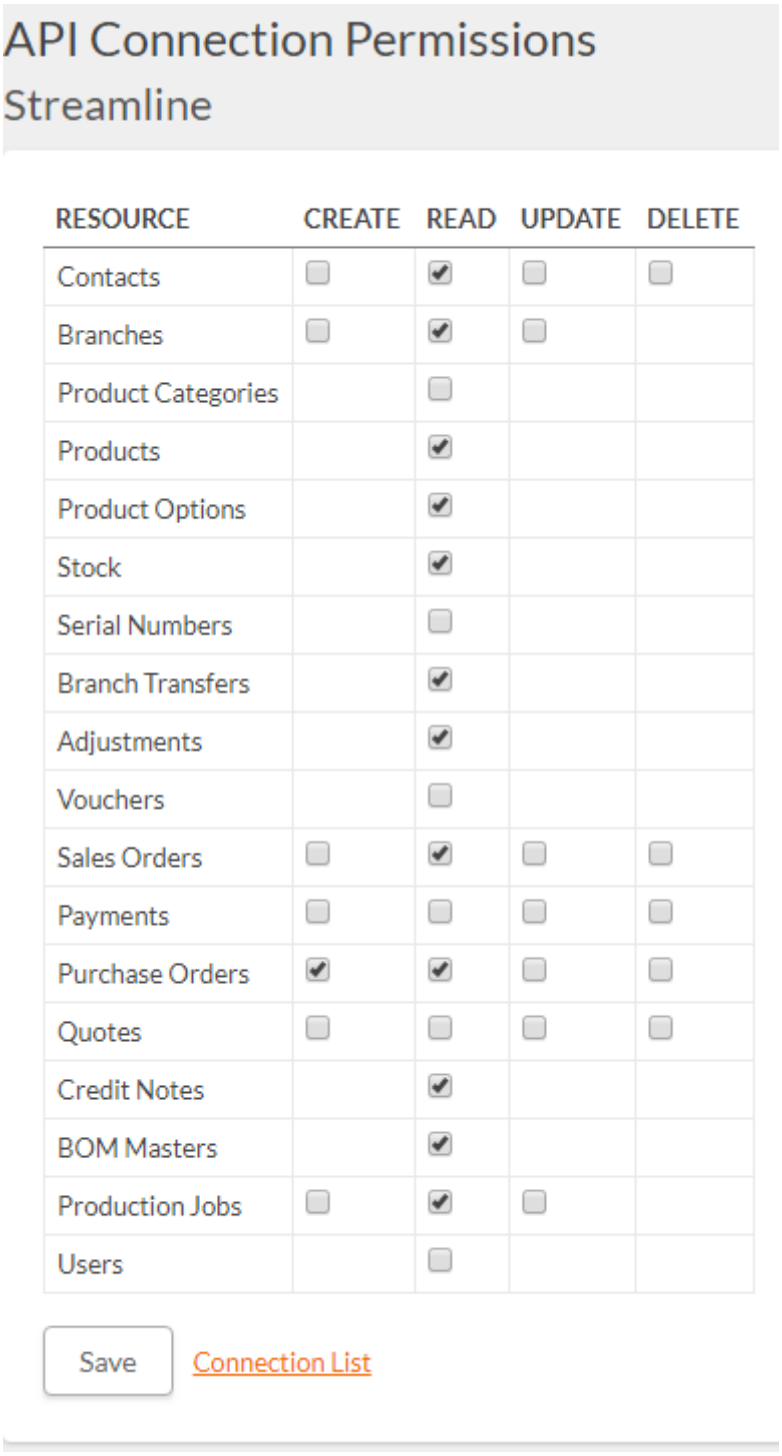
次の手順は、API接続のパーミッション設定です。これはGMDH Streamlineが必要なデータのみにアクセスさせるためです。次の手順に従い、設定します。:

1. **Back to Setup**ボタンをクリックし、API設定ページに戻ります。

2. API接続一覧から最新の接続を見つけ、対応する**Permissions**リンクをクリックします(下記の図を参照)。



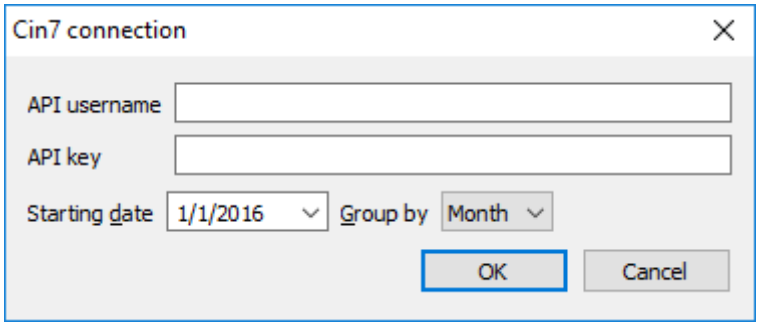
3. 下記の図に表示されているパーミッションを設定し、**Save**ボタンをクリックします。



GMDH Streamlineへデータをインポート

次の手順に従い、Cin7のデータから新規プロジェクトを作成します。:

1. メニューの**ファイル** > **新規** > **Cin7 接続**を選択します。**Cin7 接続**ダイアログが開きます(下記の図を参照)。



2. APIユーザー名とAPI Keyを入力します。

3. 次から開始コントロールにインポート開始したい日付を入力または選択します。

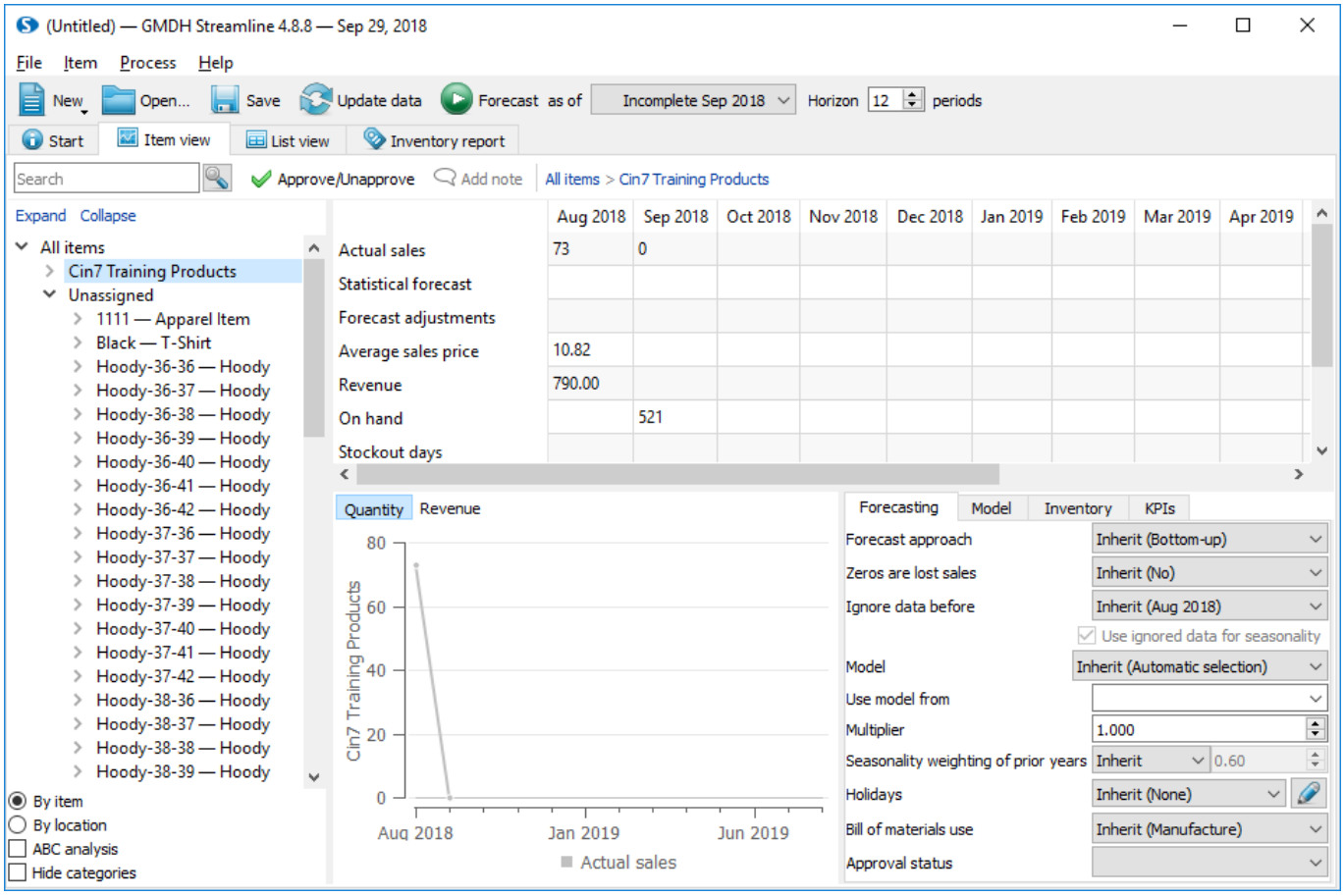


精度の高い予測を作成するには、GMDH Streamlineに少なくとも24か月の販売履歴を設定することを強くお勧めします

2020/09/29 06:44

4. タイムスタンプのグループ化コントロールにてデータ集計期間を選択します。データを設定された(日、週、月)期間で自動的に集計します。例えば、予測、補充計画や他のレポートを月単位で確認する場合、月単位でデータをグループ化します。

5. OKをクリックしてインポートを開始します。



次へ: Dynamics GP

PDFダウンロード

From:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:cin7-connection-guide

Last update: **2020/09/26 12:40**